

えたり、トランプや紙風船で一緒に遊んだりしました。最初はなかなか話し出せなかった団員も、ゲームなどを通じてだんだん楽しく交流できるようになりました。

午後は、地元の学生も課外授業で使用するシルキー樹木園で、管理人から植物の外來種などについて説明を受けました。



シルキー樹木園で自然観察

8月3日(土)

終日ホストファミリーと過ごす日です。

ショッピングモールで買い物するなど、それぞれのホストファミリーとの交流を楽しみました。

8月4日(日)

ホストファミリーと過ごす日は実質最終日で、夕方からは送別会が行われました。

会食して交流を深めながら、団長、リーダーがいさつをし、団員が出し物を行いました。空手の形を披露したり、漢字のクイズなどを出题して会場を盛り上げました。



送別会で空手の形を披露



送別会でクイズ出題

最後に団員からホストファミリーへ感謝の手紙を添えて花束を贈呈しました。

8月5日(月)

いよいよお別れの朝を迎えました。

あつと言う間だった一週間、すてきな思い出とすばらしい体験ができました。中には「もっとアメリカにいたい」と言う団員もいました。早朝にも関わらず、多くのホストファミリーに見送られて日本へ向け出発しました。



ホストファミリーの見送り

(日本時間)  
8月6日(火)

夕方、団員は大きな成果を胸に小野町に帰ってきました。

表情からは、達成感が見て取れます。各団員が目標を達成できたものと思います。

アメリカのホストファミリーを始め、現地で指導に当たっていたいただいたステイブンさん、クリスティンさんのオブライエン夫妻、関係各位に紙上より深く感謝申し上げます。



お世話になったオブライエン夫妻(左右)

団員からの報告

2年3組 齊藤 善  
(リーダー)  
「サマーキャンプで学んだこと」



齊藤さん(右から2番目)

僕は今回、アメリカへ行くという貴重な体験をすることができました。そして僕がこの研修で学んだことは主に2つあります。  
1つ目は、恥ずかしがらずに積極的になんでもやることです。ホストファミリーの人と話すことやいろいろな質問をすることでコミュニケーションをとることもできました。